

## 鏡視下手術部

### 1. スタッフ

部長（教授）佐田 尚宏  
 医員（教授）Alan Lefor  
 医員（准教授）藤原 寛行

### 2. 鏡視下手術部の特徴

鏡視下手術部は2007年10月診療科横断的な組織として中央施設部門に設立された。本邦に鏡視下手術が導入されて20年が経過し、適応疾患・施行診療科が徐々に拡大している。当院でも鏡視下手術施行診療科は14診療科、年間施行件数は約1,000件に及ぶ。

（鏡視下手術施行診療科）

消化器・一般外科  
 呼吸器外科  
 腎臓外科  
 小児外科  
 移植外科  
 形成外科  
 産婦人科  
 泌尿器科  
 小児泌尿器科  
 整形外科  
 耳鼻咽喉科  
 脳神経外科  
 消化器内科  
 麻酔科

（順不同）

これらの診療科が同じインターフェイスで鏡視下手術を行えるように、快適かつ効率的な鏡視下手術環境・機器の整備、鏡視下手術技術の向上、教育システムの確立を目指した活動を推進している。

### 3. 実績・クリニカルインディケーター

#### ① JMU鏡視下手術シミュレーションの開催

鏡視下手術技術向上、新規手術導入への準備等を目的として、本学実験医学センター医療技術トレーニング部門と共同で、ブタを用いた鏡視下手術トレーニング（JMU鏡視下手術シミュレーションと命名）を、年6回の予定で開催している。2009年は先端医療技術開発センター（CDAMTec、新大動物実験センター）開設に伴い、特別編を開催し、合計7回開催した。

2009年開催実績

第7回：2009年2月25日（水）  
 第8回：2009年4月17日（金）

第9回：2009年6月24日（水）

第10回：2009年7月14日（火）

（CDAMTecオープニングセレモニー）

第11回：2009年9月4日（金）

第12回：2009年10月28日（水）

第13回：2009年12月18日（金）

参加診療科：8診療科  
 延べ参加者数：約120名

#### ② 中央手術部鏡視下手術機器整備

鏡視下手術部運営会議を年2回開催、鏡視下手術機器の運用・更新の統合・均一化を推進している。2009年度は手術室録画システムの導入、天吊りモニタ3箇所設置を予定している。

#### ③ 鏡視下技術修練システムの整備

本学における鏡視下手術技術の向上、鏡視下手術技術基準の作成を目的に、技術修練システムの整備を計画している。

### 4. 事業計画・来年の目標等

#### ① JMU鏡視下手術シミュレーションの開催

2010年開催予定

第14回：2010年2月24日（水）  
 第15回：2010年5月7日（金）  
 第16回：2010年6月30日（水）  
 第17回：2010年9月3日（金）  
 第18回：2010年10月27日（水）  
 第19回：2010年12月17日（金）

#### ② 中央手術部鏡視下手術機器整備

2010年鏡視下手術機器のリース化による統一的運用を開始する予定である。

#### ③ 鏡視下技術修練システムの整備

2010年JMU鏡視下手術シミュレーションを核に、ドライラボ（バーチャル、リアルシミュレーター）を組み合わせた鏡視下技術修練システム導入を、本学メディカルシミュレーションセンターと共同で推進する。鏡視下技術修練システムの整備状況を当科におけるクリニカルインディケーターと位置づけ、積極的に取り組んでいる。その一環として、下記の大学院特別講義を開催する。

大学院特別講義

日時：2010年2月24日（水）18：00－19：00

講師：東京慈恵医科大学附属病院手術部・副部長

石橋 由朗 先生

演題：東京慈恵医科大学における鏡視下手術トレーニングと学内認定制度